

飲水思源

町長 松岡市郎

45年先、人口が34人増える!?

年明け早々、国際的には何か緊張したムードが漂い、国内的には株安が続くスタートになった。こんな中、地元紙の北海道新聞が道内で地方創生のための総合戦略を策定した70余りの市町村を分析し、2060年、45年先の人口予測を「増加する」と計画したのが東川町だけであった、と大きく報じた。2010年と比較し、わずか34人増という未来予測が大きな反響を呼ぶとはまったく考えていなかった。日本の人口問題はこれほど深刻なのかと改めて感じ入る。

今、国では地方の人口減少と高齢化、雇用と人の流れ、子育て支援などの問題を中心として人口回復を求めている。しかし簡単には特効薬は見つからない。先日ある方から、スウェーデン、デンマークなど北欧の国や地域づくりの学び、提言をまとめた「北欧モデル」(日本経済新聞出版社)という本をちょうだいした。スウェーデンでは大学まで授業料が無料であると書かれ、いわく娘さんが北欧で学んだ時は日本人でも無料であったと話しておられた。地域や国を担う源泉は人であり、コミュニケーション能力を持ち創造的に

活動する人材の教育は、地域づくり、国づくりの基本であるという考え方に沿っての無料化であるという。まったく同感である。

最近あまり語られないが、少子化要因の一つに子供の教育費負担の高騰という問題があるようだ。収入と家計のバランスを考えてわが子への教育、未来が不安になり、子育てを回避するために出産そのものを抑えようと考えていることがあるのだという。

そうであるならば、学校授業料の無料化は少子化解消への特効薬の一つになるのは間違いないようだ。国を支える人材は国民全体で育てる考え方に通じる。日本での実現に何兆円が必要なのか分からないが、間違いなく家計消費行動を促進し、経済が好循環となり、税収が伸び、国家等財政の健全化と人口減少歯止めという問題の解決になっていくのではないか。本当に学ぶ意欲があり、国を支える源泉となるべく未来を開く人たちに對して、大学教育の費用無料化実現は意義深いことであると思う。そうであるならば、45年先の本町も現状の人口を下回らないのでは…。

話す力(一般書)

草野仁/著 小学館/刊



著者はテレビキャスター歴46年。スピーチ、謝り方、雑談力、人との接し方から部下のやる気を引き出す方法まで、話し方のすべてを公開します。元プロ野球選手の松井秀喜さん、女優、司会者などとして活躍する黒柳徹子さん、女優の吉永小百合さんら著名人の話し方にまつわるエピソードも。民間放送テレビ番組のキャスター時代、リポーターたちを鼓舞してオウム事件の真相に迫った話など話題満載です。

ペコロスの母に会いに行く(映画、DVD)

TCエンタテインメント



団塊世代のサラリーマン、ゆういちとは、「ペコロス」という小さな玉ねぎのようなはげ頭を光らせ、漫画を描いたり音楽活動をしながら母・みつえの面倒を見ている。夫の死を契機にゆっくりと認知症を発症し始めたみつえの症状はやがて進行し、断腸の思いで施設に預けることに。長崎を舞台に、笑いと涙にあふれる日々の触れ合いを描く感動作。(113分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245



★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★

1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

君はどう生きる?夢と努力で世界を変えた17人(児童書)

有吉 忠行/著 PHP研究所/刊



偉人と呼ばれる人たちは、なぜ後世に残るような偉業を成し遂げることができたのでしょうか。紹介する17人は、子ども時に学校に行けなかった人、大失敗の時に誰からも助けてもらえなかった人もいます。悲しいこと、苦しいこともたくさんありました。そんな彼らに共通していたのは、夢を持ち、ひたすら努力したこと。そういう人たちの生き方を紹介しています。